

# クマ出沒で競技中止

木村佳司

東大 OLK 大会 2012 年 6 月 3 日 群馬県東吾妻町

オリエンテーリング競技中に熊がテレインに出沒。そのまま大会は中止となった。

2012 年 6 月 3 日(日) 群馬県東吾妻町  
東大 OLK 大会



こんなクマだったらよかったのに

## 結果

M70A			
1	海野忠秋	川越 OLC	0:45:28
2	今井信親	ワンダラーズ	0:46:47
3	田島三郎	入間市 OLC	0:49:11
W60A			
1	若梅節子	横浜 OLC	0:49:08
2	加藤伶子	入間市 OLC	0:51:08:17
3	海野とみ子		0:52:44
M50A			
1	下山敬史	横浜 OLC	0:56:22
2	二木 誠	ソニー OLC	0:58:40
3	木村佳司	長野県協会	0:58:42
W50A			
1	植松裕子	入間市 OLC	0:41:07
2	大塚ふみ子	千葉 OLK	0:57:53
M43A			
1	杉本光正	ES 関東 C	0:48:02
2	寺嶋一樹	ES 関東 C	0:51:38
3	田代雅之	静岡 OLC	0:52:24
W43A			
1	浦瀬香子	女子医大 OLC	0:50:07
2	丸山由美子	越王会	0:50:14
3	長友美子	千葉 OLK	1:32:18
M35A			
1	源後知之	ぞんび~ず	0:59:58
2	藤生考志	東京 OLC	1:00:43
3	森 竜生	横浜 OLC	1:03:53
W35A			
1	宮本知江子	京葉 OLC	0:42:52
2	小林正子	ES 関東 C	0:54:56
3	寺嶋貴美江	ES 関東 C	0:56:30

W12			
1	丸山里那子	みつけ OLC	1:08:14
BL			
1	岡本真嗣		1:28:43
2	池田玲子		1:43:24
BS			
1	太田恒平	OLK26 期	0:39:55
2	青木孝道	杏友会	0:50:46
3	山崎真希子	杏友会	0:51:27

ME(不成立)	WE(不成立)
M21A1(不成立)	W21A(不成立)
MAS(不成立)	WAS(不成立)
MASS(不成立)	M60A(不成立)
M20A(不成立)	W20A(不成立)
M18A(不成立)	M12(不成立)
MF(不成立)	WF(不成立)
北東 Ms(不成立)	北東 Ws(不成立)
北信越 Ms(不成立)	北信越 Ws(不成立)

## 熊出沒・競技中止

気持ちよい初夏の森を駆け抜けてフィニッシュに飛び込む。そのまま会場に戻ってくると、まだ参加者の姿が少ない。早かったスタートのせいだろう。身支度を整えるうちに会場内放送があった。・・・熊がテレインに出沒したらしい。

運営側はテレイン内の給水所でランナーを制止し、競技を中断、安全ルートで会場への帰還を行ったようだ。スタート作業はただちに中止され、出走できなかった参加者もいたようだ。幸いなことに、熊による人的被害は無かったようだ。

## リスクに対する運営の対応

東大 OLK 大会の報告書によると、熊出沒の際の役員行動マニュアルが整備されており、それに従って迅速な対応が取られたようだ。今回の東大 OLK 大会では地元の協力を得るにあたって、地元警察の指導で危機対応マニュアルが整備されており、それが今回役立ったようだ。

熊出沒への対応も良かったが、こうした地元との打ち合わせを重ねて大会を迎えた東大 OLK のメンバーを称賛したい。

当日発生したリスクは今回はクマ騒動が目立っているが、競技直前にハチの巣がテレインで発見され、急遽その対応もとられていた。

## アウトドアイベントのリスク

参加する側も、こうしたリスクに対する寛容さが求められる。アウトドアイベントには常に中止リスク、変更リスクが伴う。悪天候、天災、事故などでオリエンテーリングイベントが中止になった例はいくつもある。

しかし、「イベント当日の熊出沒」による中止は、今まで有りそうで無かった事例だ。

## 成立クラス・不成立クラス

結果的に、熊出沒による競技中断の影響を受けたクラスと、受けなかったクラスがある。影響を受けたクラスを調査し、該当のクラスのみ競技不成立が宣言された。

この東大 OLK 大会は北東学連や北信越学連内部でインカレに向けた選考レースとなっており、遠方からも多数の学生参加者があった。その選考レースは全て不成立となった。選考レースの一つが不成立になったことは参加学生にとって大きな痛手であるが、それは仕方ない。

## 蘇った五町田のテレイン

今回の東大 OLK 大会で使用されたテレイン「五町田」は、18 年前に行われた日本学生オリエンテーリング選手権大会で使用されたテレインでもある。6 月に入ったこの時期においても通行可能度のよい気持ちの良い森が広がっている。

幸い、筆者・木村は大会主催者が用意してくれたコースを走りきることができたが、それが叶わなかった参加者が多くいる。そのことが主催者としても残念でならないだろう。

またいつの日か、この五町田で素敵なイベントが行われることを願っている。東大 OLK の皆さん、おつかれさま。

(木村佳司)